

自己改革工程表の進捗について（令和5年度）

J Aみやぎ仙南が自己改革実践サイクルを通して令和5年度中に取り組んだ、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に関する活動は、以下のとおりです。

米フレコン出荷の拡大 を通じたコスト低減



コスト低減効果

米フレコンの出荷拡大に向け、フレコンを無償とし、米倉庫への自己引き取りをお願いしました。上記取り組みの結果、米フレコン出荷は令和5年度の目標9,600tに対して9,844tとなり、30kgあたり122円のコスト低減効果に繋がりました。

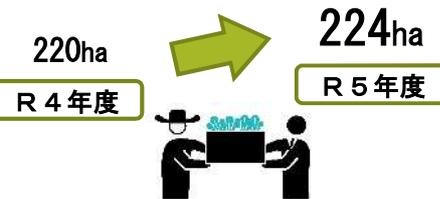
みやぎ仙南の 仙台牛ブランドの確立



売上増加効果

優良肥育素牛導入推進の実施や、管理技術向上をはかるための共進会や勉強会を開催し、仙台牛格付率の向上に取り組みました。事故防止強化として生産者への周知を徹底し、肉牛需要期への出荷頭数の確保と仙台牛格付率向上のための管理指導を実施しました。上記取り組みの結果、仙台牛の増頭と格付率の維持により、枝肉1kgあたり300円の売上増加効果に繋がりました。

生産販売マッチングによる 園芸作物生産面積の拡大



売上増加効果

離農等により県内（管内）の作物生産面積は減少傾向となっておりますが、園芸振興に取り組むことで園芸作付面積の維持と拡大に努めました。特に、主要11品目については、生産販売マッチングに取り組みましたが、安定した収量確保が売上増加や所得向上に繋がることなどから、反収アップに注力してまいります。

大型規格農薬の普及拡大 によるコスト低減（水田除草剤）



コスト低減効果

春資材予約注文書に大型規格農薬を掲載するとともに、E-SHOPを開設し普及拡大に努めました。農薬価格の上昇により使用量を減らす等の状況変化があり、取扱量は前年より減少しましたが、大型規格農薬の普及により水田除草剤コストについて10aあたり460円の低減効果に繋がりました。シェア拡大を今後の課題として捉え、出向く体制を構築してまいります。

農業振興の応援団の拡大



7地区支店協同活動、女性大学、女性部・青年部食農教育活動を通じて、JA事業の認知・共感していただく機会を拡大することで「農業振興の応援団」の拡大に繋がりました。

経営基盤の確立

4件
不稼働資産の流動化

計画に基づき土地・建物の処分を実施し、施設に関する管理費等の圧縮を行いました。

対話・意思反映

4,514件
正組合員への
個別訪問件数

83.8%
准組合員加入時
アンケート

57人
准組合員モニター
(提出意見数)

上記以外にも各種アンケートや組合員組織等での協議内容、各事業での訪問活動の際に皆様よりいただいたご意見要望等を事業運営に反映させていただいております。